



西会津中学校 学校だより

令和3年8月30日 第6号
発行者 校長 佐藤 崇史

雄 飛

教育目標 未来の可能性を創造していく生徒

自主

自律

敬愛

健康

「感謝」の思いをもって ～すべてのことに自ら学ぶ～

今週から2学期が始まりました。新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置が福島県でも延長されている中ですが、西会津中生が元気に明るく登校している姿をうれしく思っています。制限の多い生活はまだ続きますが、笑顔で充実した2学期にしてほしいと心から思います。

2学期の始まりにあたり、生徒たちに「凡事一流」「自主」「自律」を合い言葉に、たくさんのことを学んでいこうと、以下のような内容について話しました。

この夏休み、東京オリンピック2020を多くの子どもたちが連日テレビで観戦していたと思います。そこで、感じたことは、選手のコメントの素晴らしさです。どの選手もオリンピックの開催を感謝しながら、自分のこれまでの努力についてきちんと話しています。ほとんどの選手が「感謝」を口にしていることがとても印象的でした。

特に、柔道の選手たちのコメントは素晴らしく、その源は全日本柔道男子代表監督の井上康生の教えにあるように思います。井上監督は、成功するために欠かせないものとして「熱意」「誠意」「創意」という三つの言葉をあげていました。

掲げた目標に対して「こんなもんでいいや」という中途半端ではなく、何が何でも達成するのだという「熱意」、周りの協力なくして本当の成功はないと思っていますので、相手に対しての信頼や敬意といった「誠意」も忘れてはなりません。そして、考えたり、想像したりする「創意」がなければ、掲げた目標や夢も達成できません。「創意」の源は何かというと知識力だと考えているので、常に学び続ける心を忘れてないでいたいと強く思っています。

この中の「誠意」をまさに選手は実践したのだと感じました。一流の人は、周りの支えや出来事を当たり前のことだと感じるのではなく、「感謝」しているのです。私たちもたくさんの人に支えられています。でも、それを当たり前だと思いがちです。周りからの支えに「感謝」する、当たり前のことを当たり前だといふ加減にせず、さらに徹底していくという「凡事一流」を目指したいです。(柔道の選手や空手の選手で、畳を降りる前に丁寧に正座している人もいました。やはり、「凡事一流」です)

また、井上監督は「学び続ける心」の大切さも述べています。学ぶということには、もちろん知識を得ることも必要です。でもそれ以上に、どう自分を高めるか、どう活用していくかが大事だと思います。周りのすべてのことに感謝の思いがあれば、すべてのことから学ぶことができます。やらされているうちは、学びは少ないです。「自ら進んで、自分を磨く」人がたくさんを感じ、学び、成長していきます。

さあ、この2学期、3年生はいよいよ、なりたい自分になるための「15の春」のために進んでいく時です。学ぶことをあきらめず、やらされるのではなく、自分が進んで学びましょう。1、2年生は西会津中学校を背負っていく時です。授業、行事、部活動、日々の生活、すべてに学びがあります。でもそれは、学ぼうとしないと見えないのです。自ら学ぶ人が、自分を成長させます。「自主」「自律」という自ら気づき、考え、実行する姿勢がやはり大切です。

一流ついでに、こんな言葉も紹介しました。棋士の羽生善治さんの言葉です。「三流は、人の話を聞かない。二流は、人の話を聞く。一流は、人の話を聞いて実行する。超一流は、人の話を聞いて工夫する。」まずは、「凡事一流」の「一流」を目指します。さまざまな人の話を聞いて、そこから学び、実行できる人になってほしいです。しかも自ら進んで……。

心のハーモニーを響かせて ～特設合唱部 優秀賞で県大会へ～

特設合唱部が、8月18日に行われた耶麻・両沼小中合同音楽祭で優秀賞を受賞し、たった一つの県大会への代表枠の耶麻代表に選ばれました。3年生を中心に、夏休み中に活動してきましたが、実質の練習日数は10日ほどの中、課題曲「足跡」、自由曲「ヒカリ」の2曲を仕上げるといふ離れ業を子どもたちはやってのけました。審査員の先生方から、子どもたちの素直な発声にお褒めの言葉をいただきました。やはり、最後は、「素直さ」「人柄」なんだと西会津中の子どもたちの素晴らしさを改めて感じます。9月3日の白河で行われる福島県下小中学校音楽祭では、これまで練習してきたすべての思いを歌に込め、さらに素敵な心のハーモニーを響かせてきてほしいと思っています。



イノチャレ2021西会津 ～3年生のアントレ学習いよいよ実現へ～



「夏休み中にしかできないことがある。」この夏休みに、3年生が昨年度アントレプレナーシップ学習で考えたアイデアの実現に向けて動き出しています。「西会津町かるた」「反射材の作成」「学習カフェ」「キャンプ場づくり」「ミネラルピザ」「学習アプリ」「苦手な野菜の克服」など、少しずつ形になってきています。夏休みを有効に活用し、さまざまな人たちに支援をいただきながら、完成を目指します。

完成形がどうなるか、ワクワクします。この活動を通して、アイデアを形にすることだけでなく、西会津の良さを再確認してほしいです。

耶麻地区中学校英語弁論大会 ～英語での豊かな表現力を～

27日に喜多方プラザで行われた耶麻地区中学校英語弁論大会に3年生の伊藤夕藍さんと秋田莉奈さんが出場しました。夕藍さんは暗唱の部で「葉っぱのフレディ」を、莉奈さんは創作の部で「開発途上国のために私たちにできることは？」という内容を発表し、夕藍さんが銀賞を受賞しました。もちろんすべて英語での発表です。これからの国際社会で、英語で表現する力は大切な力です。書くこと以上に話すこと、聞くことが求められています。2人とも、夏休みの間練習してきた成果を発揮して、表現力豊かな発表をしました。この経験をした2人は、英語で表現することの素晴らしさをたくさん学んだことと思います。素敵な発表でした。

新型コロナウイルス感染症対策の徹底について

保健だよりでも連絡していますが、まん延防止等重点措置が福島県内に発出されていることから、西会津中でも感染症対策を徹底していきますので、以下の内容についてご家庭でもご確認ください。

1 感染しないための注意

- (1) こまめなアルコールによる手指消毒や毎日のハンカチ交換
- (2) マスクの着用とソーシャルディスタンスの厳守
- (3) 感染拡大地域への不要不急の外出と飲食の自粛

2 学校内における感染症対策について

- (1) 手指消毒やマスク着用、健康観察の徹底を図ります。
- (2) 給食・昼食時は、対面にしない、会話を控える、換気を強化する等を徹底します。
- (3) 教室や職員室等の換気を、常時または定期的に行います。

3 学校への連絡等のお願い

- (1) 登校前の検温、体調等を確認し、登校の判断を行ってください。(発熱、せき、息苦しさ、強いだるさの症状がある場合は無理せず家庭で休養し、経過を観察してください。) 欠席の場合は、必ず学校に連絡ください。
- (2) 児童生徒本人やご家族で感染、濃厚接触者となった場合には必ず学校に連絡ください。
- (3) ワクチン接種での欠席等についても学校に連絡ください。また、ご家族がPCR検査を受ける場合についてもご連絡ください。

※ 感染拡大地域では、家庭内での感染が増えております。ご留意くださいますようお願いいたします。



9月の主な行事予定	
29日(水)	2年アントレプレナーシップ学習発表会
27日(月)	小中合同授業研究会
22日(水)	3年実力テスト
21日(火)	耶麻中体連新人戦
17日(金)	耶麻中体連新人戦
16日(木)	耶麻中体連新人戦
15日(水)	生徒会立会演説会・選挙
13日(月)	一学年職場見学
9日(木)	3年水泳授業
6日(月)	ビブリオバトル全校大会
3日(水)	3年水泳授業
2日(木)	福島県下小中学校音楽祭
	全会津中体連駅伝大会